



# マザーが教えてくれる—— 愛すること、生きること

ひとは誰も、愛し、愛されるために生まれてきます  
許すには、たくさんの愛が必要です  
許しを請うには、さらに謙虚さが必要です  
——マザー・テレサの言葉より

宗教や人種をこえて、貧しい人々のために生きたマザー・テレサ。1979年にはノーベル平和賞を受賞。1997年に惜しまれながら亡くなるまで、彼女はその行いによって「愛」とは何かを世界中に示し続けました。彼女が設立した「神の愛の宣教者会」は135の国と地域に広がり、今なお多くの人々が彼女の精神を引き継ぎ活動しています。

そして2016年3月、バチカン(ローマ法王庁)はマザーを、ローマ・カトリック教会で最高位の崇敬対象となる「聖人」に認定しました。式典(列聖式)は9月4日、マザーの命日(9月5日)の前日に執り行われます。2010年に開催された「生誕100年記念 マザー・テレサ映画祭」。彼女の奇跡ともいえる活動を記録した、国内外の珠玉のドキュメンタリー全7本を一挙上映した映画祭は、東京都写真美術館ホールの総動員数歴代1位を更新し、映画を通じて多くの方がマザー・テレサの精神に触れました。

マザー・テレサの列聖、そして東京都写真美術館のリニューアル・オープンを記念して、多くの愛に包まれた「マザー・テレサ映画祭」が帰ってきます。

強く、美しく、優しさに満ちたマザーの姿、そして彼女が残した数々の言葉。その輝きは色あせることなく、不寛容な現代を生きる私たちに大切なことを教えてくれます。



マザー・テレサの活動とその精神性がわかっていくにつけ、マザー・テレサを日本にお招きしたいと思うようになった。そこで「日本にも貧しい人がいます」と手紙を出した。彼女は承諾し、日本においでになった。1981年4月のことである。マザー・テレサは日本人に多くの言葉、模範を残し、感動を与えて下さった。彼女がいつも言っていた「愛と平和は身近なところから、あなたの家族、職場、ご近所に目を向け、奉仕するところから始まる」との言葉は、今の私たちに大きな示唆を与えてくれると思う。

——白柳誠一枢機卿(2009年12月30日帰天)



## マザー・テレサと生きる



[2009年 | 16:9 | 日本 | 73分]  
監督:千葉茂樹  
企画・製作:女子パウロ会  
製作協力:近代映画協会  
語り:山根基世(ことばの杜)  
◆文部科学省選定  
◆カトリック中央協議会推薦  
◆SIGNIS JAPAN  
(カトリックメディア協議会)推薦

千葉茂樹監督による[生誕100年]特別記念作品。マザーが帰天して12年一彼女が深く心にとめ、3度も訪れた日本では、どのようにその精神が受け継がれているのか?彼女の後継者シスター・ニルマラ(前総長)の特別許可のもと、今も続く愛に満ちた活動に初めてカメラが向けられる。

## マザー・テレサとその世界



[1979年 | 4:3 | 日本 | 55分]  
監督:千葉茂樹  
企画・製作:小島好美(近代映画協会)、  
白井詔子(女子パウロ会)  
ナレーター:来宮良子

インド政府より異例の許可を得て、千葉茂樹監督が日本人として初めてマザー取材。「貧しい人とともに生きる

きびしい生活を選ぶのはなぜか」「若いシスターたちはなぜこの道を選ぶのか」……。映画は疑問を投げかけながら、マザーと仲間たちの清貧な日々、多岐にわたる活動を、マザーの力強い言葉とともに記録する。公開時大反響を呼んだ名作。

## マザー・テレサの祈り 生命それは愛



[1981年 | 4:3 | 日本 | 30分]  
監督:千葉茂樹  
企画:ファミリー・ライフ協会、  
女子パウロ会  
製作:近代映画協会  
ナレーター:岸田今日子

マザーが初めて日本を訪れた1981年4月、その愛に満ちた7日間を映し出す。秒刻みともいえる日程をエネルギーにこなしながら、わずかな隙間を見つけては、最も貧しい人々に会いに行き、多くの日本人とふれあっていく。この来日は、「神の愛の宣教者会」の修道院が日本にも開設されるきっかけになった。

## 母なることの由来 —デジタル復刻版—



[1986年 | 4:3 | アメリカ | 83分]  
企画協力:フィールドワークス  
製作・監督:アン・ベトリ、  
ジャネット・ベトリ  
撮影:エド・ラッハマン、サンディ・シセル  
ナレーション:リチャード・アッテンボロー  
日本語字幕

TVプロデューサーだったベトリ姉妹が、コルカタ、レバノン、NYなど10カ国に及ぶマザーの活動に5年間同行し取材・撮影。1982年夏、戦禍渦巻く中東のバイルトで、マザーが周囲を説得し病院に取り残された子供達を救出しに向かう映像や、ハーバード大学でのスピーチなど貴重な記録を収める。88年に日本公開され話題となった名作のデジタル復刻版。

## 特別企画

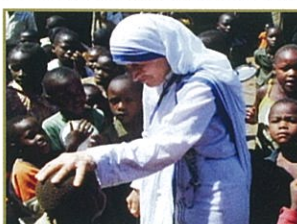
### 言葉の贈り物~マザー・テレサからあなたへ

コルカタでボランティア活動に従事し、マザー・テレサの勧めで司祭の道に進まれた片柳弘史神父。現在は山口県でカトリック宇部教会主任司祭、幼稚園講師、刑務所教諭師として働いておられます。片柳神父ご本人がコルカタで撮影されたマザーの写真と選りすぐりのマザーの言葉を、音楽家こいずみゆりさんの曲とともに、映画本編の上映前にスライドショーでご紹介します。本編とあわせてぜひお楽しみください。

※本編をご覧になる方のみ、すべての映画上映前にスライドショーをご観覧頂けます。



## 母なるひとの言葉



[2004年 | 4:3 | アメリカ | 55分]  
企画協力:フィールドワークス  
製作・監督:アン・ベトリ、ジャネット・ベトリ  
撮影:エド・ラッハマン、サンディ・シセル  
音楽:スザンヌ・シアーン  
日本語字幕

生前のマザー本人のインタビュー、そして1997年の盛大な国葬の模様を収録。さらに、マザーを看取った修道女たちが語る、死を間近にした彼女の最期の行動や言葉。観る者に「愛のひと」がこの世にいたことの奇跡を強く感じさせる。

## マザー・テレサの遺言



[1996年 | 4:3 | ドイツ | 43分]  
監督:マーセル・パウアー  
インタビュー:オメル・ダンゲ  
撮影:ブラモード・マチュー、A・カマル  
日本語字幕

マザー・テレサが亡くなる前年に制作された愛と実践とインタビューの記録。宗教や人種を越えて世界中の人々に贈るメッセージを、時にユーモアを交えながら、迫力ある声と人間味あふれる笑顔で話すマザー。その存在感は、晩年であってもやはり圧倒的。1990年代につくられた希少な作品。

## 素晴らしいことを神さまのために



特別上映作品  
[1969年 | 4:3 | イギリス | 50分]  
企画協力:フィールドワークス  
製作・監督:ピーター・シェファー  
インタビューアー:マルコム・マゲリッジ  
日本語字幕

本映画祭の当日券または前売券の提示で、当日ご希望の方を先着順でご招待します。

1969年、英国BBCで放送され、マザー・テレサのコルカタ(現在のカルカッタ)での活動に密着し、全世界にその全貌を知らしめた記念碑的なドキュメンタリー。最初は客観的な距離を保つインタビューアーのマゲリッジだが、マザーの活動に感銘を受け、のちにカトリック教徒となっている。